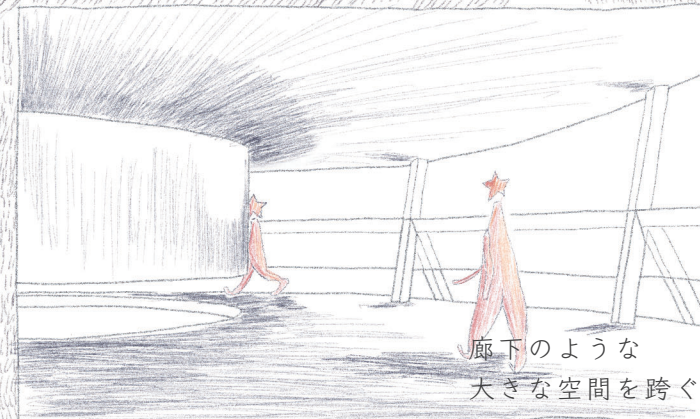


跨ぐ世界

こ か い
跨 界

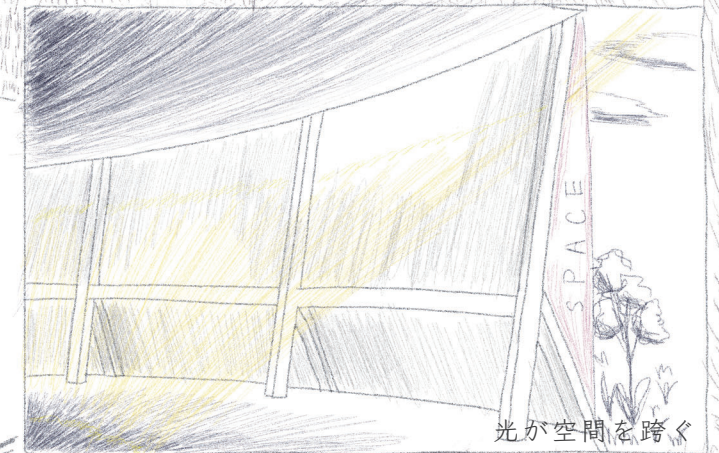
跨ぐ境界

世界をまたぐ【LARGE】

廊下のような
大きな空間を跨ぐ

世界を跨ぎ、次の空間へ。

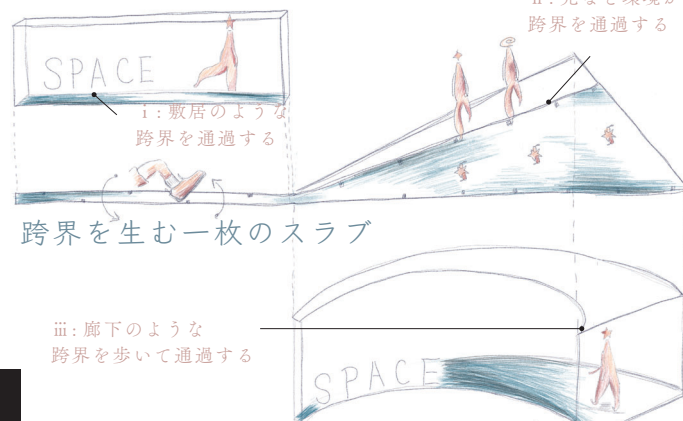
世界をまたぐ【MEDIUM】



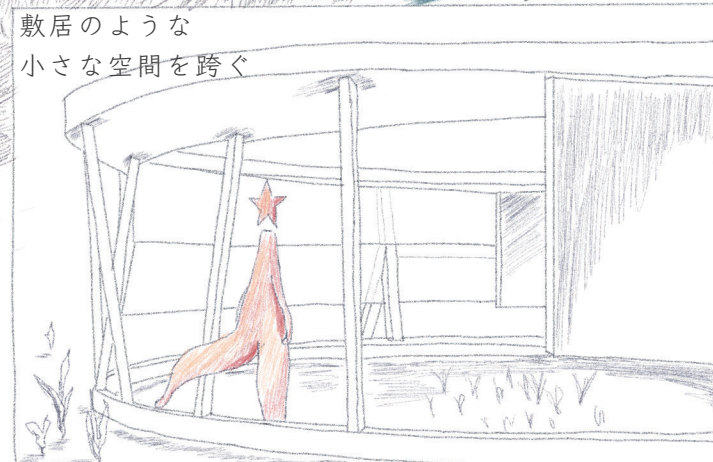
光が空間を跨ぐ

Proposal Diagram

世界をまたぐ - 跨界の大小

ii: 光など環境が
跨界を通過するi: 敷居のような
跨界を通過する

跨界を生む一枚のスラブ

iii: 廊下のような
跨界を歩いて通過する敷居のような
小さな空間を跨ぐ

世界歩いてを跨ぐ

世界をまたぐ【SMALL】

Design purpose

私が空間が変わったと感じるとき、何かを跨ぐあるいはくぐる行為がきっかけとなっていると感じています。それは敷居を跨ぐ所作など、日本人として根付いているからかも知れません。

ここで私達は“空間”（跨界）を跨ぐことを境界として、次の空間へ移ったと認識を改めていると考えられるとも思います。そして壁は跨界を満た（Fill）した要素だとも考えられるでしょう。

そこでこの建築はすべて外部空間で構成されています。しかし、【跨界】この手法“だけ”で構成されたこの建築では確かに内部・外部のような区切られた故にできる空間達が現象していると感じます。跨界の通過が空間から空間へと次の空間へ移るきっかけとなっているということではないでしょうか。そこには、遮断せずとも空間を区切る、過去敷居や障子が担っていた境界性が生まれ、現代に重要な新たな建築の煌めきを感じています。